科目名			担当教員	
地域福祉と包括的支援体制Ｂ			大石　剛史	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CC3098	2	1	RorSR（講義）	２年以上
履修登録条件		「地域福祉と包括支援体制Ａ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録する方のみが履修登録できます。		
生成 AI 利用レベル		レポート　：　B	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

これまでの歴史的経緯を踏まえ、地域共生社会を含むケアリングコミュニティの構築に向けた地域住民等や地方公共団体並びに関係機関の役割を理解し、人々の繋がりや地域社会の機能力が脆弱化してきていると指摘されている今日、地域福祉実践の理論と実際を理解し、具体的に実践するための手法を学びます。

具体的には、各地域における様々な実践事例や、エピソードなどを交えて、地域福祉の基本的な考え方と、その考え方が具体的な実践でどのように活かされているのか講義を通じて紹介します。

これらの事例等を通じて、地域福祉の実践によってどのような効果や成果が望まれているのか等に関し、地域住民が取り組む意義と、地域福祉実践が絶えず動的に展開される必要性について理解を深めます。

【教員等の実務経験による指導内容】

自治体、社会福祉協議会等への地域福祉の進め方に関するスーパーバイズ経験等を活かして、小地域福祉活動の進め方、地域共生社会に向けた包括的支援体制の構築方法、地域福祉計画の策定プロセス等、具体的な事例等を交えて解説する。

■到達目標

1）地域福祉は、地域住民等が推進主体であることを説明できる。

2）地域福祉は、地域共生社会の実現に向けた実践であることを説明できる。

3）地域福祉実践のために、包括的な支援体制を含む人的社会的資源のシステム形成の必要性を説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「開発・創造力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 50%

■教科書・参考図書

【教科書】（「地域福祉と包括支援体制Ａ」と共通）

都築光一著『福祉ライブラリ現代の地域福祉（第 2 版）』建帛社、2022 年

※「地域福祉と包括支援体制Ａ」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

（最近の教科書変更時期）2023 年 4 月

（スクーリング時の教科書）上記教科書は必ず持参してください。旧教科書を所持している場合でも受講に支障がないよう資料などを配付します。

【参考図書】

1）大石剛史著『ケアリングコミュニティの理論』学文社、2024 年

2）日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座［共通科目］6 地域福祉と包括的支援体制』中央法規出版、2022 年

3）公益社団法人日本社会福祉士会『地域共生社会に向けたソーシャルワーク：社会福祉士による実践事例から』中央法規、2018 年

4）日本地域福祉研究所（監修）、中島修、菱沼幹男（編集）『コミュニティソーシャルワークの理論と実践』中央法規、2016 年

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

地域福祉の展開方法として、地域福祉計画や福祉教育、包括的支援体制の構築のあり方、それらを用いて地域共生社会をどのように実現していくかを学んでいただきたいと思います。また災害時における福祉のあり方も学びます。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	地域社会の概念と理論	地域社会の概念と理論、地域社会の変化について学ぶ
2	福祉計画の意義・目的と展開	福祉行財政と福祉計画や福祉計画の種類や歴史を学ぶ
3	福祉計画の策定過程と方法・評価	計画の課題把握や実施に向けた合意形成・評価について学ぶ
4	包括的支援体制と地域包括ケアシステム	各種制度による対応システムについて学ぶ
5	地域共生社会の実現に向けた多機関協働	多機関協働と多職種連携について学ぶ
6	非常時や災害時における法制度	災害と地域福祉について法制度等を通じて学ぶ
7	非常時や災害時における総合的な支援	災害時の福祉的支援について事例を通じて学ぶ
8	地域福祉と包括的支援体制の課題と展望	地域共生社会の構築・福祉ガバナンスについて学ぶ
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

教科書を用いながら、配付資料をもとに板書もしながら進めます。

■スクーリング評価基準

とくに到達目標記載内容についての理解を問います（教科書および自筆のノートのみ持込可）。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

教科書の第 1 章・第 2 章は読んできてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	地域共生社会実現の必要性（第 2 章）	今日の地域社会の動向を踏まえ、地域共生社会への取組みの必要性を理解する	・地域共生社会の必要性 ・脆弱化した地域社会 ・都市における高齢化の進行
2	民生委員 1	民生委員制度の概要と歴史について理解を深める	・民生委員制度の概要 ・民生委員制度の歴史 ・民生委員の職務内容
3	民生委員 2	民生委員活動の現状と課題を理解する	・民生委員の位置づけと働き ・民生委員制度の課題
4	地域福祉関係団体	地域福祉活動に関係する様々な団体の種類や役割について理解する各種団体のネットワーク形成のあり方や考え方を理解する	・地域関係団体（自治会・町内会等） ・当事者団体（老人クラブ・子ども会・各種障害者団体など） ・職能団体やサービス提供者団体 ・企業や JA などその他
5	福祉教育 1	福祉教育の理念・目的・概念の理解	・福祉教育の理念 ・福祉教育の概念と各種理論
6	福祉教育 2	福祉教育の取組みの歴史と具体的な事例	・福祉教育のあゆみ ・福祉教育の取組み事例（地域と学校）
7	地域福祉計画 1	地域福祉計画の概要と目的・法的根拠	・地域福祉計画の目的と概要 ・地域福祉計画の法的根拠
8	地域福祉計画 2	地域福祉計画の策定プロセスと用いられる調査・統計	・地域福祉計画の策定プロセス ・計画策定に活用される調査や統計と活用上の留意点
9	地域福祉活動計画	行政と違った社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画の意義と地域福祉計画との関係	・地域福祉計画と地域福祉活動計画の関係 ・地域福祉活動計画策定の必要性 ・地域福祉活動計画の特長
10	包括的支援体制 1	福祉専門職による地域における様々な活動について理解する	・包括的支援体制と重層的支援体制 ・相談支援の特長と具体的な事例
11	包括的支援体制 2	就労、学習など、様々な機会に参加することができるよう支援する参加支援	①多様な社会参加・就労の支援 ②住まいの確保のための支援 ③権利擁護のための支援 ④社会との接点の確保・包摂の支援
12	包括的支援体制 3	地域活動や地域づくりに関する支援のあり方を理解する	・「地域」そのものの働きとしての「場」の機能 ・「地域」づくりへの取組としての「地域づくりをコーディネイトする機能」 ・住民自身が主体的に取り組むよう支援する
13	災害時福祉支援体制 1	災害時におけるフラジリティとヴァルネラビリティの理解	・災害は社会事象であることと様々な脆弱性の克服が求められていること ・様々な災害法制の理解

14	災害時福祉支援体制２	レジリエンスとしての災害福祉の取組みの理解	・フォーマルな取組み ・インフォーマルな取組み ・災害福祉としての当事者を包摂した取組み
15	今後の地域福祉の方向性	現代社会の様々な問題と解決に向けた地域福祉の取組みの方向	現代社会の様々な問題について事例を紹介する様々な事例の解決に向けた地域福祉の取組み事例を通じて、今後の実践の方向性を探る

■レポート課題

１単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
２単位め	「断らない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を含む包括的支援体制を、「多機関協働」「福祉教育」「地域福祉計画」などを活用してどう構築するか、あなたの考えを論じなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

計画策定プロセスと重層的支援体制の概要を把握し、機関や人的資源の果たすべき役割と、計画の目標をしっかりと記載することが重要です。

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

包括的支援体制の全体像をよく理解したうえで、多機関協働による支援体制づくり、住民主体の地域福祉活動の展開を促す福祉教育、地域福祉を計画的に推進する地域福祉計画など、学んだ地域福祉の展開方法に関する知見を活かしながら、総合的に論じてください。具体的な事例なども適宜用いると良いでしょう。

科目修了試験

■評価基準

テキスト・文献や法律等からの引用だけではなく、学んだ知識を踏まえた上でのご自身の考察が重要です。的確な内容の理解に基づいたうえで、独自性のある考察が行われていることが評価ポイントになります。